

株式会社エクストランス

X-MON 3.0.4

アップデート内容

内容

概要	3
監視コマンド及び監視プラグイン設定機能を追加	4
監視プラグイン設定機能	5
監視コマンド設定機能	8
VMware 監視が vSphere5 に対応	9
ヘッダ部分のデザイン変更	9
Windows イベントログ警告管理の表示方法を変更	10
WMI による Windows イベントログ監視の機能追加	11

概要

X-MON3.0.4 のアップデートにより、以下の機能が追加されました。

- 監視コマンド及び監視プラグイン設定機能を追加
- VMware 監視が vSphere5 に対応
- Windows イベントログ監視の検出設定機能の強化
 - ・ エラーイベントログを検出した際の監視ステータスの指定
 - ・ 検出イベント ID の範囲による指定および除外 ID の指定
 - ・ 監視ステータスを自動復旧するイベント ID の指定

X-MON3.0.4 のアップデートにより、以下の機能が変更されました。

- ヘッダ部分のデザインを変更し、承認待ちの変更やログアウトボタン等をアイコンで表示するように変更
- Windows イベントログ警告管理の表示変更
- 時刻設定において、24:00-24:00 という時間の指定を許可するように変更
- サービス作成時に下記のサービス ID を予約語として使用禁止
 - ・ 「-VMPERF」で終わるサービス ID
 - ・ 「-VMPERF-」を間に含むサービス ID
 - ・ 「-VMWARE-」を間に含むサービス ID

次のページより主な追加機能及び変更点をご紹介します。

監視コマンド及び監視プラグイン設定機能を追加

監視コマンド設定機能と監視プラグイン設定機能については管理者メニューの「高度な設定」より進むことができます。



監視コマンド一覧

監視コマンドの一覧表示、登録を行います。

監視プラグイン設定

監視プラグインの設定を行います。

図 1 高度な設定

監視プラグイン設定機能

監視プラグイン設定機能では独自の監視プラグインを追加出来ます。
追加した監視プラグインはホストやサービス及び監視パッケージの設定にて使用することが出来ます。

オプションや引数をそれぞれの監視プラグインに設定出来ますので、より柔軟な監視を行えます。

監視サービス毎に異なる値 (WARNING のしきい値等) についても \$ARGn\$ (n は数字) という Nagios 標準マクロを引数として指定することで、ホストやサービスの設定時にそれぞれ値を設定することが出来ます。

監視プラグインを登録するには「監視プラグインの設定」にて実行コマンドや引数を入力してください。

The screenshot displays the X-MON web interface. At the top, it shows the user is logged in as an administrator on 2012/07/26 at 10:30:06. The main menu on the left includes '監視プラグイン設定一覧' (Monitoring Plugin Settings Overview). Below this, there are buttons for '+ 登録' (Register) and '削除と承認' (Delete and Approve). A table lists existing plugins, including 'セッション数監視' (Session Count Monitoring) with a '詳細表示' (Show Details) button. A blue arrow points from the '登録' button to the '監視プラグインの設定' (Configure Monitoring Plugin) page. This page has a '戻る' (Back) button and '削除と承認' (Delete and Approve) button. The configuration form includes the following fields:

コマンドID(英数字)	session
コマンド名称	セッション数監視
コマンドタイプ	サービス用コマンド
コマンドグループ	Linux/Unix系リソース監視(SNMPv1,v2対応)
実行コマンド	check_snmp
引数	-H \$HOSTADDRESS\$ -P \$ARG1\$ -c \$ARG2

At the bottom of the configuration page, there are buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '詳細な設定へ進む' (Proceed to Detailed Settings).

図 2 監視プラグイン設定

実行コマンドには「[監視コマンドの登録](#)」で登録した監視コマンドを利用出来ます。
また、引数には Nagios 標準マクロを使用することが出来ます。[Nagios 標準マクロ](#)につきましては、X-MON のヘルプに一覧がございますので、ご参照ください。

\$ARGn\$ の Nagios 標準マクロを引数として使用することで、ホストやサービスの設定時に各サービスに応じた値を入力することが出来ます。

設定例)

監視プラグインの設定にて各項目値を設定します。

X-MON - 管理者がログインしています。(2012/07/26 10:16:)

監視プラグインの設定 ?

コマンドID(英数字)	session
コマンド名称	セッション数監視
コマンドタイプ	サービス用コマンド ▾
コマンドグループ	Linux/Unix系リソース監視(SNMPv1,v2対応) ▾
実行コマンド	check_snmp ▾
引数	-H \$HOSTADDRESS\$ -P \$ARG1\$ -c \$ARG2

引数には Nagios 標準マクロが利用可能です。

キャンセル → 詳細な設定へ進む

図 3 監視プラグインの設定例 1

\$ARGn\$を引数と設定したので、詳細設定ページにて項目名とデフォルト値を設定します。

デフォルト値として X-MON のマクロが利用可能です。[X-MON マクロ](#)につきましては、X-MON のヘルプに掲載していますのでご参照ください。

X-MON - 管理者がログインしています。(2012/07/26 10:40:16)

監視プラグインの詳細設定

コマンドID(英数字)	
check_user_session	
コマンド名称	
セッション数監視	
実行コマンド	
check_snmp	
引数	
-H \$HOSTADDRESS\$ -P \$ARG1\$ -c \$ARG2\$ -o \$ARG3\$	
項目名/デフォルト値	
\$ARG1\$	SNMPバージョン名 \$\$_snmp_version\$
\$ARG2\$	SNMPコミュニティ \$\$_snmp_community\$
\$ARG3\$	OID .1.3.6.1.4.1.3224.16.3

図 4 監視プラグインの設定例 2

追加した監視プラグインを用いたサービスを登録します。

X-MON - 管理者がログインしています。(2012/07/26 10:50:26)

M E N U

サービスの作成

↓ すべて開く

基本設定

ホストID(英数字)	
192.168.10.202	
サービスID(英数字)	
SESSION	
サービス監視用コマンド	
Linux/Unix系リソース監視(SNMPv1,v2対応)	
セッション数監視	
SNMPバージョン名	2c
SNMPコミュニティ	public
OID	.1.3.6.1.4.1.3224.16.3
通知先グループ	

X-MON マクロを利用することで監視ホストに設定している SNMP のコミュニティ名や Windows サーバのアカウントやパスワードなどを指定することができます。

図 5 監視プラグインの設定例 3

以上の設定を行うことで追加した監視プラグインを用いて監視を行えます。

監視コマンド設定機能

監視コマンド設定機能では独自の監視コマンドを追加出来ます。

独自の監視コマンドについては、プログラムを記載したファイルをアップロードすることで監視コマンドを追加出来ます。

監視コマンドをアップロードしただけでは、ホストやサービスの監視用コマンドとして利用できません。

監視用コマンドとして利用するには、追加した監視コマンドを実行コマンドとした監視プラグインを「[監視プラグイン設定機能](#)」で作成する必要があります。

監視コマンドを登録するには「監視コマンドの登録」より、プログラムを記載したファイルをアップロードしてください。

ただし、下記のファイルにつきましてはアップロードすることができません。

- ファイルのサイズが PHP で設定している上限を超えている。
上限については「監視コマンドの登録」のヘルプをご覧ください。
- アップロードするファイル名が Nagios コマンドと同名となっている。
- 拡張子が下記のいずれかになっている。

zip、pdf、jpg、gif、doc、ppt、png、docx、xlsx、xls、ppts



図 6 監視コマンド一覧

VMware 監視が vSphere5 に対応

X-MON 3.0.4 より VMware 監視が vSphere5 にも対応致しました。

ヘッダ部分のデザイン変更

ヘッダに新たな承認待ちの件数を表示する機能が追加されました。



図 7. ヘッダ

図 7. ヘッダ画面赤枠部分に、承認案内を表示します。

また、現在表示されている[ログアウト]ボタンや[X-MON の再起動を行ってください。]ボタンもアイコンに変更しています。



再起動アイコン **※注**

このアイコンは再起動の必要があるときに点滅します。
点滅しているときに選択すると、X-MON の再起動を実行します。



承認待ちアイコン **※注**

承認待ちの申請があると右上に件数を表示します。
右上に件数がある状態で選択すると、設定変更の承認へ移動します。



ヘルプアイコン

このアイコンを選択することでダッシュボードのヘルプ画面へ移動します。



ログアウトアイコン

このアイコンを選択すると、X-MON からログアウトします。

※注 閲覧者権限のユーザにはアイコンが表示されません。

オペレータ権限のユーザにはアイコンは表示されますが、再起動及び「設定変更の承認」への遷移は行われません。

Windows イベントログ警告管理の表示方法を変更

従来では取得したログを全て時系列で表示していましたが、X-MON 3.0.4 よりサービス毎にまとめて表示するように変更致しました。

そのため、イベントログを監視サービス毎に削除が可能となりました。

X-MON - 管理者がログインしています。(2012/07/26 13:16:18)

Windows イベントログ 警告管理

チェックを入れた監視結果を消去し、サービスステータスを正常(OK)に戻します。

削除

ホスト名	サービス名	イベントログ発生日時	
<input type="checkbox"/> WindowsServer	LOGIN_LOG	2012-07-26 13:14:19	ユーザー-adminはログインできませんでした →過去のイベントログを確認する
<input type="checkbox"/> WindowsServer	LOGOUT_LOG	2012-07-26 13:14:30	ユーザー-adminはログアウトしました →過去のイベントログを確認する

X-MON - 管理者がログインしています。(2012/07/26 13:17:55)

WindowsServer - LOGIN_LOG - イベントログ一覧

削除

イベントログ発生日時	内容
2012-07-26 13:14:19	ユーザー-adminはログインできませんでした
2012-07-26 13:14:18	ユーザー-adminはログインできませんでした
2012-07-26 13:14:17	ユーザー-adminはログインできませんでした
2012-07-26 13:14:16	ユーザー-adminはログインできませんでした
2012-07-26 13:12:06	ユーザー-adminはログインできませんでした
2012-07-26 13:12:05	ユーザー-adminはログインできませんでした
2012-07-26 13:12:04	ユーザー-adminはログインできませんでした
2012-07-26 13:12:03	ユーザー-adminはログインできませんでした
2012-07-26 13:12:01	ユーザー-adminはログインできませんでした

戻る 削除

図 8 Windows イベントログ警告管理

WMI による Windows イベントログ監視の機能追加

WMI による Windows イベントログ監視において下記の点が追加になりました。

イベント ID の指定方法の追加

イベント ID の指定方法に「範囲指定」と「除外指定」及び「複数指定」を追加致しました。

範囲指定：「1-10」のように指定することで、1 から 10 までのイベント ID という指定が可能です。他にも下記のような範囲指定が可能です。

「-40」：40 以下のイベント ID

「20-」：20 以上のイベント ID

除外指定：「!2」のように指定することで、2 以外のイベント ID という指定が可能です。範囲指定と併用も可能ですので、下記のような指定が行えます。

「!1-100」：1 から 100 のイベント ID を除外

「!500-」：500 以上のイベント ID を除外

複数指定：「1, 100」のように指定することで、1 と 100 のイベント ID という指定が可能です。範囲指定及び除外指定と併用も可能ですので、下記のような指定が行えます。

「1, 10-20」：1 と 10 から 20 までのイベント ID

「1, 10-20, !11-13」：1 と 10 から 20 までで 11 から 13 を除外したイベント ID

設定項目の追加

WMI による Windows イベントログ監視及び WMI による Windows イベントログ監視(自動復旧) のそれぞれに設定項目を追加致しました。

追加致しました項目は下記になります。

- WMI による Windows イベントログ監視

エラーステータス：エラーイベントを検出した際に変更される状態を指定することが可能になりました。

※選択できる状態は CRITICAL, WARNING, UNKNOWN です。

- WMI による Windows イベントログ監視 (自動復旧)

復旧イベント ID:復旧条件にイベント ID を指定することが可能になりました。

基本設定

ホストID(英数字)
172.16.21.8

サービスID(英数字)
Windows_LOG

サービス監視用コマンド
Windowsリソース監視
WMIによるWindowsイベントログ監視

接続アカウント名 administrator

接続パスワード ●●●●●●

エラーイベントID

エラー文字列

取得ログ分量(分) 5

エラーステータス CRITICAL

通知先グループ

基本設定

ホストID(英数字)
172.16.21.8

サービスID(英数字)
Windows_LOG_AUTO

サービス監視用コマンド
Windowsリソース監視
WMIによるWindowsイベントログ監視(自動復旧)

接続アカウント名 administrator

接続パスワード ●●●●●●

エラーイベントID

エラー文字列

取得ログ分量(分) 5

復旧イベントID

復旧文字列

通知先グループ

この項目が新たに追加されました。

図 9 WMI による Windows イベントログ監視